

第158回 （平成22年度第7回）理事会議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成22年12月22日（水）19：00～21：00
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館2階第2会議室（横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 出席理事：（会 長）河野 太郎
（副 会 長）佐藤 嘉彦 片 忠夫、山田 力
（専務理事）上田 英之
（常務理事）清水 忠、木村 徳善、徳本 進、吉岡 去私
（理 事）金子 理人、本田 衛義、国島みどり、高柴 一彦
青木 文明、岡田 良平、小池 光、佐々木生道
森本 珠水、中村 浩人、黒川 正孝、伊藤 敏光
和田 幸一、吉野 大成

欠席理事：（理 事）大澤 康之

4. 出席監事： 内海 雄三

欠席幹事： 井上 敏郎

5. 議長選出： 上田 英之専務理事を指名
6. 議事録署名人選出： 小池 光理事、吉野 大成理事を選出
7. 書 記： 青木 文明理事を指名
8. 議 事

議事に入る前に、山田副会長から、シーズンに入り各種研修会や大会が始まっております。各本部協力して行事の遂行をお願いしたい。20時ころに河野太郎会長がお見えになる旨の挨拶があった。

1) 教育本部

(1) 報告事項

木村本部長より、別紙資料のとおり報告があり、了承された。

①各種報告・SAK関係

イ) 11月13日 川崎市教育文化会館で開催されたスキー指導者研修会・クリニック・養成講習会理論・スキー指導員養成会（理論）・公認スキー指導員検定会（理論）・スノーボード検定員ジャッジクリニック・スノーボード指導者養成講習会（理論）について、県代表選手の表彰を入れるなど新しい取り組みなど好評であった旨の報告があった。

ロ) 北海道行事（総務本部主催）

12月～19日に開催された北海道行事は雪不足もあり、会場の変更があった。また、講師が靱帯損傷・骨折、足首の捻挫の2件の事故があったことが報告された。

ハ) 鹿沢行事（協議本部コラボ行事）

森本理事より、12月18日～19日に開催され、25名の参加があり、有資格者もポールに入る必要があることなど、有意義な研修会であったことが報告された。

②各種報告・SAJ・南関東ブロック関係

イ) SAJデモンストレーター合宿 11月19日～21日

会場：長野県 熊の湯スキー場

出席：山田SAJ教育本部副部長・小林育美SAJデモンストレーター

ロ) SAJ中央研修会 11月19日～21日

会場：長野県 熊の湯スキー場

出席：山田SAJ教育本部副部長・上田専務理事・木村本部長・岡田理事

ハ) SAJスノーボード中央研修会 11月22日～25日

会場：長野県 軽井沢プリンススキー場

出席：小池理事

二) スノーボード技術員研修会（北関東・南関東・甲信越・東海北陸・西日本）

11月23日～25日

会場：長野県 軽井沢プリンススキー場

出席：岩森強化委員長・山本検定委員長・甲田企画運営委員長・塩崎専門委員

ホ) 南関東ブロック研修会・実技 11月26日～28日

会場：群馬県 鹿沢ハイランドスキー場

出席：山田SAJ教育本部副部長・上田専務理事・清水常務理事・木村本部長・岡田理事

佐々木理事・森本理事・中村理事・教育本部専門委員50名

(2) 審議事項

①第10回神奈川県千葉県スキー技術選手権大会役員選出について

木村本部長より、第10回神奈川県千葉県スキー技術選手権大会役員選出について、2月の理事会で事後承認をお願いしたい、さらに大会執行責任者として佐藤副会長をお願いしたい旨の提案がなされ、承認された。

②スノーボード行事役員派遣依頼について

木村本部長より、スノーボード行事関係の役員派遣について提案がなされ、承認された。

- ・車山Ⅰ行事 SB指導者研修会 荒巻陽子SAJデモンストレーター（長野県）
- ・五竜Ⅰ行事 SBエキスパート講習会 進藤正勝SAJデモンストレーター（山形県）
- ・上越国際SB強化合宿 塚本理枝子SAJデモンストレーター（新潟県）
- ・南関東SB技術選手権大会 審判4名、フォアランナー1名
- ・秋田洋明（千葉県）、小田勝美（山梨県）、高橋一美（新潟県）、志田正継（新潟県）
塚本理枝子SAJデモンストレーター（新潟県）
- ・その他SAKから審判員として、高橋佳伸教育スノーボード専門委員

③南関東スノーボード技術選手大会役員派遣について

木村本部長より、南関東スノーボード技術選手大会役員について、大会執行責任者を常務以上の役員で派遣をお願いしたい旨の提案がなされ、片副会長が担当することで承認された。

④スノーボード検定会日程変更について

木村本部長より、スノーボード検定会日程変更について受験者減少に伴い、日程を1日減らし2日間としたい及び大会執行責任者として副会長の派遣をお願いしたい旨の提案がなされ、片副会長が担当することで承認された。

⑤スノーボード指導者規定 第25条特別合格による指導者資格推薦

小池理事より、スノーボード指導者規定に基き、SB準指導員 荒谷智之（川崎スキー協会）の推薦提案がなされ、承認された。

〇片副会長より、安全対策について以前より警鐘を鳴らしてきているが、昨年度の技術戦の選手の負傷（7件）もあり、事故のない行事運営を図るべく、教育本部として対策を至急練るよう示唆された。上田専務理事から安全対策の委員会の開催など、佐藤副会長・清水総括常務からも同様の意見が出され、車山行事Ⅰまでに徹底を図ることが確認された。

2) 競技本部

(1) 報告事項

吉岡本部長より、次の行事について報告があり、了承された。

①チャレンジカップ第1戦 12月17日～19日

参加者 SL137名 GSL 193名

- ②ノルディックフレッシュマン講習会、県選手権 12月29日～1月2日
参加者 9名
- ③ノルディック県選手権 1月2日～1月3日
参加者 19名
- ④競技力向上選手強化合宿 アルペン 12月24日～27日
会場：長野県 菅平高原スキー場
参加選手 成年男子A 平賀 淳成（法政大学）・成年男子C 下村 康則（トーエル）
少年男子 金子進太郎（関東学園）
成年女子A 平賀智奈実（日本女子大学）・成年女子B 今川 央（菅生中教員）
他ジュニア指定選手13名
- ⑤役員派遣
神奈川県高等学校スキー大会 1月4日～7日
派遣者：菊地富士夫
- ⑥南関東ノルディック国体選考会 1月14日～16日
参加者 21名（ジャンプ・コンバインド選手2名含む）
- ⑦南関東ブロックアルペン担当者会議 12月13日
会場：東京都スキー連盟会議室
参加者：菊地富士夫、松坂 徹憲、和田 幸一
報告の最後に、吉岡競技本部長から競技者管理登録者数の報告があった。片副会長・佐藤副会長より、登録者数の減少歯止めについて考えてもらいたい旨の意見が出された。

（2）審議事項

①国体選手内定について

吉岡本部長より、国体エントリーに時間が短いため、現地で選考委員会を開催し、事後承認を得たいとの提案がなされ、規程どおりの選考を行うことで、承認された。

3）総務本部

（1）報告事項

①慶弔関係 なし

②資金運用状況

金子理事より、11月末預金残高が22,104,386円との報告があり、了承された。

③登録状況

本田理事より、登録者数が前年より800名少ない状況であること、団体登録が221であることが報告され、佐藤副会長から会員増加へのアプローチについて検討すべきである旨の意見があり、了承された。

④北海道委員会

高柴理事より、参加者148名、役員22名、今後の集客方法について考えていきたい。

吉野理事から、現地報告として雪不足による会場変更、講師負傷者があったが、行事は実施できたとの報告があり了承された。

⑤ハンディキャップ委員会

国島理事より、11月27日にHCセミナー開催（18名）を開催、11月13日指導員研修会・12月27日北海道行事にてボランティアを依頼した。

13日に14000円、27日に6000円の賛助会費があったことが報告され了承された。

⑥広報委員会

青木理事より各種大会結果等を広報委員会青木まで連絡をお願いするとともに、SAK便りに全リザルトの掲載を企画していることの報告があり、了承された。

⑦協賛会員拡大委員会

本田理事より、モノリスからの協賛があるとの報告があり、了承された。

⑧新公益法人移行の業者説明会について

徳本本部長より、平成24年5月移行に向けて、2社との打ち合わせを行っていることの報告(別添資料)があり、了承された。

⑨賛助会員規定の修正について

徳本本部長より、報告(別添資料)があり、了承された。

⑩県体育功労者表彰「山田 隆」決定通知について

徳本本部長より、県体育功労者表彰式が1月8日(土)に開催され、上田専務理事、徳本本部長が出席予定との報告があり、了承された。

⑪平成23年度功労準・指導員(15名)、ドクターパトロール(1名)の認定通知について

徳本本部長より、平成23年度功労準・指導員(15名)、ドクターパトロール(1名)の認定通知の報告があり、了承された。

(2) 審議事項

①研修会費用免除願いについて

本田理事より、研修会費用免除願い(別添資料)の提案がなされ、承認された。

②指導者資格停止解除申請規定について

金子事務局長より、新規の規程として提案(別添資料)がなされ、検討が必要な項目があるとの意見が出され理事会で今後の審議が必要であることを前提で、資格停止となる条件を再考し再提案することとなった。

③謝金規定について

金子事務局長より、主にハンディキャップ行事のボランティアに対してt o t oの助成金から謝金の規定が必要であることの旨で規定の提案(別添資料)がなされたが、旅費規程の中に併記できないかとの指摘もあり、再度検討後、再提案することとなった。

④協賛会員規定について

徳本本部長より、提案(別添資料)があり、表現の統一をするよう指摘を受け、再提案することとした。

⑤専門委員の追加について

徳本本部長より、アルペン専門委員 『八木智英子』(相模原)の提案がなされ、承認された。

⑥海外スキーの中止について

高柴理事より、現時点の申し込みが『0』なので、中止ということで提案がなされ、承認された。

― 会長挨拶 ―

河野会長から公益法人への移行に伴い各種団体が右往左往している現状ではあるが、早めの対応をお願いしたい。また、お金のないぶん智慧を出しあいながら、連盟の発展とスキー人口を増やしていく工夫をお願いしたい。シーズンは継続中ですが、1年間ありがとうございました。よいお年をお迎えくださいとのご挨拶をいただいた。

4) その他

(1) 岡田理事より、車山Ⅰ行事の講師変更についての質問に対して、教育本部長からの指示に従うこととで了解された。

(2) 内海監事より、プレ監査の報告があり、次回は1月25日に行う。

北海道行事からの反省で安全安心対策をお願いしたい。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成22年 1月 8日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印